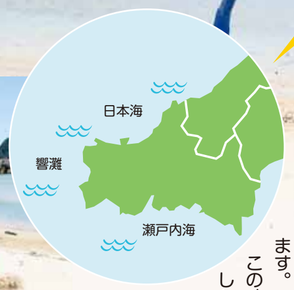
読売新聞

「海と日本プロジェクトinやまぐち」特集

特別号

発行所／読売新聞西部本社
〒810-8581 福岡市中央区赤坂1-16-5
☎092-715-4311㈹

立ちあがれ 海維新の志士



日本海にめんした阿武町の清ヶ浜。砂浜をあるくと「キュッ、キュッ」と音がすることから「鳴き砂の浜」とよばれます。たくさんのごみが流れついて一時は鳴かなくなっていたのですが、地元の人たちが清掃活動にとりくんだ結果、鳴き砂とともにうつくしい景色がよみがえりました。

わたしたちがくらす山口県は、本州の西のはしにあり、3方向を海にひらかれた、いわば海口県です。日本海と響灘、瀬戸内海――。3つの海にはそれぞれちがった特徴があり、魚をはじめ、たくさんの生きものたちが生息しています。海はまた、海水浴などのレジャーや観光の拠点としても大切なやくわりをはたしてくれています。

このすばらしい海を、わたしたちの子や孫の代まですばらしいままでつたえるためにはどうすればいいのでしょうか。

今年は明治維新から150年。この特別号では「海と日本プロジェクトinやまぐち」でたんじょうした「海維新の志士」たちが体験をとおしてかんじたことや、山口の海にまつわるいろんな話題をしょうかいします。みなさんも海維新の志士になって、海口県の未来について考えてみませんか。

「海と日本プロジェクトinやまぐち」（KRY山口放送などでつくる実行委員会主催）は今年の5月から8月にかけて、日本財団がすすめる「海と日本プロジェクト」の一環として行われました。

海維新の志士「共同宣言」

今年の「海と日本プロジェクトinやまぐち」には県内の小学5、6年生約30人が参加しました。5月の「立志塾」で山口の海の現状などを学んだあと、6月に日本海と響灘、瀬戸内海の3コースに分けてひらかれた「体験塾」に参加。その成果をオリジナルの新聞にまとめ、8月に周南市で行われた「サミット」で発表して全員が「海維新の志士」の認定をうけました。

サミットでは「海を守ろう」「海を育てよう」「海を体験しよう」の3つのテーマについて、いま、何をするべきかをはなしあい、共同宣言としてまとめました。その後、代表4人が県庁にでむいて村岡嗣政知事に報告しました。

★海を守ろう

「5月3日は、大掃除」

みんなで海の環境を守るため
◎海や海の生き物のために、ゴミを出さないようにしよう
◎友達や家族、地域の人と力を合わせ海の清掃活動をしよう

★海を体験しよう

「海の楽しさを知ろう」

◎山口県内の全学校で海の授業を行い、海の魅力や特徴をみんなで学ぼう
◎みんながつくった新聞をパンフレットにして海の魅力を伝えよう
◎実際に海に行き、楽しさに気づこう!

★海を育てよう

「2月9日 ふくの日」

魚の魅力を知り、関心を持つために
◎山口県内の小学校6年生全員がふぐを放流しよう
◎山口県内の小学校1～6年生がみんなでふぐについて学び、給食でふぐ料理を食べよう

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT KRY in やまぐち

ネッツトヨタやまぐち 維新前進KRY

楽しく読んで学力が身につく！

読売KODOMO新聞
よみうりこどもしんぶん
特別協力／小学館 協力／四谷大塚

月額 500円（税込み）
毎週木曜日発行
全国一斉発売

1週間のニュースから、政治、経済、社会、国際ニュース、スポーツなどすべての分野をわかりやすくお伝えします。その他に、テレビ、ファッションなどのエンターテインメントの情報もお届けします。写真や、豊富な図解、イラストをふんだんに使い「おもしろくて、ためになる」紙面作りを心がけており、ご家族みなさんで楽しめる新聞です。

オールカラー／タブロイド判 /20ページ

10代の「学びたい」を応援する新しいシンブン

読売中高生新聞
特別協力／小学館

月額 780円（税込み）
毎週金曜日発行
全国一斉発売

中学生と高校生に役立つ情報が満載の週刊総合紙です。
ニュース、スポーツ、学習、ファッションなど"好奇心のタネ"が盛りだくさん。スマートフォン専用アプリと連動した投稿面「Yteen」も注目です。

オールカラー／タブロイド判 /24ページ

読売中高生新聞、読売KODOMO新聞の定期購読のお申し込みは、０１２０－４３４３－８１またはお近くの読売センターまで